

Axis装着式ソリューション

Axis装着式ソリューションの最新アップデートと改善についてご確認ください。

各リリースの全体の概要については、装着式システムデバイスソフトウェアリリースノートを参照してください。

装着式システムデバイスソフトウェアの最新バージョンは、こちらからダウンロードできます。

装着式のすべてのチュートリアルビデオはこちらから見つけることができます。

AXIS OS 12.9

2026年2月リリース



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

プライバシーゾーン – 常にアラートを受け取る

カメラ装着車が機密区域に入力すると、カメラが振動し、3回ビープ音を鳴らすか、または音声クリップを再生します。アラートの緊急性はすべて同じである必要はありません。ダイナミックアラート機能により、通知の緊急性を決定できます。常に、または録画中のみにアラートを受け取るように設定できます。プライバシーゾーンの設定手順については、[プライバシーゾーン](#)を参照してください。

リモートストリーム有効化アイコン

AXIS W102カメラおよびAXIS W120カメラのディスプレイは、リモートストリームステータスを色で示すカラーアイコンを使用します。これにより、ユーザーはオペレーターが常駐し、対応可能な状態であることを確認できます。リモートストリームの起動準備が整ったことを示すため、新しい白枠のアイコンが追加されました。

AXIS Body Worn Assistantのアップデート

カメラの位置の把握は、カメラの撮影内容と同様に重要です。AXIS Body Worn AssistantのAXIS Body Worn Liveでは、オペレーターはアクティブなライブストリームがなくてもドッキングされていないカメラの地理的位置を確認できるようになりました。

AXIS OS 12.8

2026年1月リリース



新機能の説明ビデオ

新システムのロール

システムにローカル管理者という新しいロールが導入されています。ローカル管理者は、カメラやユーザーの追加・削除、カメラへのユーザーの割り当て、システムログやレポートのエクスポートなどの日常業務でシステム管理者をサポートすることができます。

割り当てられたユーザーをカメラに表示する

休憩などの後にユーザーが割り当てられたカメラを確実に取得したい場合は、トップボタンを押します。割り当てられたユーザー名とIDがディスプレイに表示されます。

ドッキング解除後のワイヤレスブロードキャストの遅延

ユーザーが定期的にカメラのドッキング解除後にテスト録画を行う場合、そのテストによって近隣のカメラで録画が開始しないようにするために、ドッキング解除後2~30分間、ブロードキャストを無効にすることができます。手順については、ワイヤレスブロードキャストを参照してください。

AXIS OS 12.7

2025年11月リリース



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

新機能の説明ビデオ

プライバシーゾーン

AXIS W401Body Worn Activation Kitを使用すれば、カメラのユーザーが録画を停止すべきという旨の通知を受け取るプライバシーゾーンを設定することが可能です。プライバシーゾーンの設定手順については、[プライバシーゾーンを設定する](#)を参照してください。

ライブストリームの録画

ユーザーがカメラの録画ボタンを押すことで録画を開始した際、常にライブストリームを開始することができるようになりました。カメラプロファイル設定の「AXIS BodyWorn Live」の項目で、この機能をオンにしてください。

AXIS OS 12.6

2025年9月リリース



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

新機能の説明ビデオ

携帯電話のAXIS Body Worn Live

AXIS Body Worn Assistantモバイルアプリが拡張され、AXIS Body Worn Liveが追加されました。これにより、組織内のすべての装着式カメラからライブストリームとGPS位置情報を確認できます。チームメンバーがライブストリームを開始すると通知を受け取って、アプリでライブ位置を直接確認できます。詳細については、*AXIS Body Worn Assistant*を参照してください。

ドッキングされていないカメラを追跡し、リモートでライブストリームを開始する

AXIS Body Worn Liveでは、ドッキングされていないカメラがビデオをアクティブにストリーミングしていなくても、その地理的位置を確認できるようになりました。また、カメラユーザーをクリックするだけで、リモートからライブストリームを開始できます。詳細については、*AXIS Body Worn Live Axis-hosted*のユーザーマニュアルを参照してください。

カメラをシステムに自動的に再接続する

セーフモードに入ったすべてのカメラが自動的に装着式システムに再接続するようにシステムを設定できます。手順については、カメラがシステムに再接続することを自動で許可するを参照してください。

AXIS OS 12.5

2025年6月リリース



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

新機能の説明ビデオ

2台のホルスターに対応

Bluetooth®ペアリング技術の更新により、各カメラユーザーに2個のホルスターセンサーをペアリングできるようになりました。

優先順位付けされたオフロード

特定のカメラユーザーからの重要なビデオ素材があることがわかったら、そのユーザーを優先するように設定できます。この優先順位は、24時間続きます。手順については、特定のユーザーの録画を優先的にオフロードするを参照してください。

カメラリストからのカメラステータスレポート

すべてのカメラ、またはフィルターに一致するカメラの現在のステータスに関するレポートを取得できるようになりました。詳しくは、カメラレポートのダウンロードを参照してください。

AXIS OS 12.4

2025年4月リリース



新機能の説明ビデオ

カメラタグ

カメラにカスタムタグを割り当てて、特定のカメラを簡単に除外できるようになりました。カメラ1台につき複数のタグを使用できます。

転倒検知でライブストリーミングをトリガー

転倒検知を録画のトリガーとしてだけでなく、AXIS Body Worn Liveへのライブストリーミングのトリガーとしても使用できるようになりました。

AXIS Body Worn Liveのエンドツーエンド暗号化設定の簡素化

AXIS Body Worn Liveでエンドツーエンド暗号化を有効にするプロセスが簡素化されました。AXIS Body Worn Managerでリンクを開いたり共有したりするだけで、AXIS Body Worn Liveウェブアプリケーションでエンドツーエンド暗号鍵が自動設定され、インストールされるようになりました。

AXIS OS 12.3

2025年2月リリース



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

新機能の説明ビデオ

AXIS Body Worn Live Self-hostedのサポート

AXIS Body Worn Live Self-hostedがリリースされました。これは、ローカルまたは独自の環境でホストされる、既存のAXIS Body Worn Liveのバリエーションです。詳しくは、axis.com/products/axis-body-worn-live を参照してください。

評価モード

デモや概念実証 (PoC) で装着式ソリューションを試す場合は、評価モードを使用できます。録画は削除でき、終わったら簡単にリセットできます。

T10236489_ja

2026-02 (M2.2)

© 2025 – 2026 Axis Communications AB